

福島第一 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 1/3 >

参考値

(データ集約：11/11)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北西側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北西側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北側(横方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時	平成23年11月10日 10時00分～10時30分		平成23年11月10日 10時00分～10時30分		平成23年11月10日 11時00分～11時30分		平成23年11月10日 11時00分～11時30分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	3.6E-04	0.18	5.7E-04	0.29	5.8E-04	0.29	5.1E-04	0.26	2E-03
Cs-137 (約30年)	4.7E-04	0.16	7.4E-04	0.25	7.2E-04	0.24	6.6E-04	0.22	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、 . × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約8E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 2/3 >

参考値

(データ集約 : 11/11)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上北東側(横方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南東側(下方向))		3号機原子炉建屋上部 (原子炉上南東側(横方向))		炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
試料採取日時刻	平成23年11月10日 12時00分 ~ 12時30分		平成23年11月10日 12時00分 ~ 12時30分		平成23年11月10日 13時00分 ~ 13時30分		平成23年11月10日 13時00分 ~ 13時30分		
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	4.2E-03	2.1	1.8E-03	0.90	6.1E-04	0.31	3.5E-04	0.18	2E-03
Cs-137 (約30年)	5.0E-03	1.7	2.3E-03	0.77	7.3E-04	0.24	4.5E-04	0.15	3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

. E- とは、. × 10⁻ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約2E-5Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

福島第一 3号機原子炉建屋上部における空气中放射性物質の核種分析結果 < 3/3 >

参考値

(データ集約：11/11)

採取場所	3号機原子炉建屋上部 (機器ハッチ開口部3階付近)								炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空气中の濃度限度)
	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
試料採取日時刻	平成23年11月10日 9時05分～9時35分								
検出核種 (半減期)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (/)	
I-131 (約8日)	ND	-							1E-03
Cs-134 (約2年)	4.9E-04	0.25							2E-03
Cs-137 (約30年)	6.0E-04	0.20							3E-03

試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

・ E- とは、 $\times 10^{-}$ と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。

検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約1E-5Bq/cm³。

粒子状のI-131が約8E-6Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。